

動き出す、未来へ

～大槌町地域復興協議会～



地域復興協議会が行われています

現在大槌町は、碓川町長のもと平成23年12月を目標とした「大槌町震災復興基本計画」の策定に取り組んでいます。この「大槌町震災復興計画」は、津波防災や土地利用に関する計画のみを提示するのではなく、産業、雇用、保健・医療、福祉、教育、環境などの全分野の計画を盛り込む予定としており、大槌町が震災から復旧復興に向けて、力強く歩み出すための未来図として作成するものです。また、当町の特性や特色を生かした実現可能な計画とする必要があると考えています。そのためには、より多くの町民の皆さんの意見を取り入れ、町民全員で作り上げるものとするのが望ましいと考えています。

そこで町は、町内10地域に「地域復興協議会」を立ち上げ、現状や課題を踏まえた未来像を議論して頂き、復興計画に反映させていくこととしました。

大槌町地域復興協議会 第1回全体会の内容

概要

- 日 時：平成23年10月10日（月）9:30～12:00
- 場 所：大槌町城山公園体育館
- 参加者：約500人

10月10日（月）、城山公園体育館に於いて第1回大槌町地域復興協議会全体会を開催しました。

この全体会は、10月16日（日）から開催している地域復興協議会に先立ち、町の復興計画策定に向けた基本方針や考えを町民の皆さんにお示しし、認識を共有して頂くことを目的に開催しました。

全体会では、町から大槌町復興計画ロードマップ（策定までのスケジュール）と、大槌町震災復興計画策定に向けた今後の方針を説明しました。会場には、町民の皆さんおよそ500人が集まり、様々な意見や要望が出されました。



地域復興協議会への参加について

大槌町地域復興協議会を設置しました。地区割については、下表の通りとし、該当地区の地域住民や事業者、その他、地域に関わりのある個人や団体等であれば、どなたでも参加することができます。

No.	地域復興協議会名	地区名（原則、震災前の住所地に参加願います。）
①	町方地域復興協議会	新町、大町、本町、末広町、須賀町、栄町、上町
②	桜木町・花輪田地域復興協議会	桜木町、花輪田、臼沢
③	小枕・伸松地域復興協議会	小枕、伸松
④	沢山・大ヶ口地域復興協議会	沢山、大ヶ口、源水、迫又、枉内、前段、和野
⑤	安渡地域復興協議会	安渡1・2・3丁目、新港町、港町
⑥	赤浜地域復興協議会	赤浜1・2・3丁目
⑦	吉里吉里地域復興協議会	吉里吉里1・2・3・4丁目
⑧	浪板地域復興協議会	浪板
⑨	小鎚地域復興協議会	藤打直、一の度、種戸、徳並、長井
	金沢地域復興協議会	下屋敷、対間、戸保野、安瀬の沢、中川原、中山、戸沢

地域復興協議会の基本的な流れ

第1回 認識を共有します

- ・復興基本方針や津波に対するまちづくりの考え方等、まちづくりの前提となる内容を皆さんで共有します。
- ・全体会での意見への対応や、地域の皆さんから詳細な意見を頂きます。

第2回 復興パターン（案）を検討

- ・まちづくりの前提を踏まえて、復興パターン（案）について、皆さんから意見を頂きます。
- ・グループ討議を行い、防波堤、嵩上げ、高台移転についての議論を深めます。
- ・復興パターン（案）に記されていない内容についても、意見を出し合います。

第3回 復興パターン（案）の絞り込み

- ・第2回で頂いた意見を踏まえ、復興パターン（案）を修正し、これについて意見を頂きます。
- ・意見交換を踏まえて、復興パターン（案）の絞り込む方向を確認します。

第4回 復興まちづくり計画（案）のまとめ

- ・今まで頂いた意見をもとに、復興まちづくり計画（案）として地域の考え方をまとめます。
- ・今後の協議会の進め方、優先的に取り組むことなどを話し合います。



地域復興協議会長

下記の方々が、町長から協議会長に任命されました。（敬称略）

No.	地域復興協議会名	会 長
①	町方地域復興協議会	小 向 幹 雄
②	桜木町・花輪田地域復興協議会	中 村 盛 観
③	小枕・伸松地域復興協議会	三 浦 勝 男
④	沢山・大ヶ口地域復興協議会	阿 部 敬 一
⑤	安渡地域復興協議会	赤 崎 友 洋
⑥	赤浜地域復興協議会	川 口 博 美
⑦	吉里吉里地域復興協議会	藤 本 俊 明
⑧	浪板地域復興協議会	臺 野 宏
⑨	小鎚地域復興協議会	藤 原 市之助
	金沢地域復興協議会	兼 澤 平 也

第1回地域復興協議会で頂いた【ご意見・ご感想】(抜粋)

被災前の居住地区	ご意見
大町	・高台移転しかないのではと感じた。被災前の地域住民が同じところに住めるようにしてほしい。
須賀町	・防潮堤の高さを14.5mにしても、東日本大震災級の津波は防げないようで、震災前の場所には住めないと感じ複雑な思いでいる。 ・高台移転を望みます。土地の買い上げをお願いしたい。
栄町	・パターン図では栄町が公園用地とのことだが、私はここに住みたいと考えている。 ・移転となった場合、栄町と同等の敷地面積を確保できるのだろうか。 ・JRの線路を高架橋にして踏切をなくせば、高架橋の下を道路が通り抜けられるようになり、交通の利便性と安全面から、災害時には速やかな避難をすることができるのではないか。 ・これまで通り、河川堤防の上部は道路として利用したい。 ・大槌は『漁業』の町。どうか海と共存できるような計画をお願いしたい。 ・命がけで守った船を繋ぐところがない。大潮、台風と不安であり、船を安心して繋げる場所を確保してほしい。
上町	・多重防災とあるが、避難するよう徹底するには無理がある。今回の津波経験者はともかく、数十年後に生まれる人はどうだろうか。 ・産業用地が一番低いところになっているが、そこに投資する人がいるだろうか。 ・復興計画は、大胆と思われるくらいの計画を作ってほしい。
桜木町	・小鉢川からの浸水が怖くて家が新築できないため、堤防を高くしてほしい。 ・水門の造り方を考えてもらいたい。桜木町は盛土しないと家を建てられないのか、それとも建ててよいのか。早急に町方と共に進めてもらいたい。 ・高台移転に賛成で、コンパクトなまちづくりをすべきである。 ・城山の登り口付近の避難ルートを複数整備すべき。 ・盛土は復興を遅らせる要因である。その間に人口は流出し、町は廃れると思う。大槌に帰りたい、住みたいという我々には苦痛であり、一刻も早い復興を願う。
小枕・伸松	・高い堤防は要らない。海が見える高台に移転したい。 ・堤防は必要最低限の高さにし、避難路と避難場所を確保することが大切。 ・伸松の居住系は移転とあるが、事業系はそのままの用地を継続して利用して良いものか。具体的に示してほしい。
沢山	・湾内の堤防の高さがバラバラになった時など、近隣市町村との調整はどうするのか。また、県に対してどのような形で民意を通すのか。 ・ハード面だけでなく、ソフト面や精神的な部分でも相互関係がとれる会議になればと思う。 ・防潮堤が14.5m以上高くないのなら、今回の津波で浸水した地域は全戸高台に移転すべきだと思う。 ・防災無線が聞こえないので、再点検し、町民にしっかりと情報を伝えてほしい。 ・高台移転や浸水していない地域への移転を考えるべきで、町の中心部を今までの場所にこだわる必要はないと思う。嵩上げ、防潮堤に係る費用もつたいない。 ・三陸縦貫道のインターチェンジができる場所を中心に、商業地と住宅地を確保すれば良いのではないかな。
大ヶ口	・嵩上げも重要だが、命を守ることを第一に考えれば、高台移転が望ましいと思う。山を所有する地主と交渉し、少しでも早く安心して住める町にしてほしい。 ・防潮堤の高さが県の言うとおりであるならば、千年に一度の津波を考えるよりも、40～50年の津波を考えたまちづくりをすべき。 ・子どもたちが安心して暮らせる町にしてほしい。
安渡	・赤浜から安渡を抜けて国道に繋がる道路を整備してほしい。その周辺に住宅地を整備しては。 ・防災教育、意識啓発が大切だと思う。若者の参加が少ないので、もっと呼びかけをすべきだ。 ・今回の津波による避難状況や役場の指示を徹底的に検証することが重要だと思う。 ・道路や大槌川沿いの堤防も嵩上げてほしい。新港町、港町地区だけでなく、安渡地域の住民でも、希望者は高台に移転させてほしい。 ・町外移転が進んでいるので、とにかく急ぐことが大切である。 ・現実的な問題もあるが、津波がこれからも来る場所に、子孫を住まわせてよいのかを話し合っていきたい。 ・高台にある土地の範囲を広げることではできないのか。盛土の上に家を建てることに抵抗感がある。
吉里吉里	・高台に移転する場合、そこへの道路(避難路)を広く整備すべきだ。 ・吉里吉里は美しい砂浜が自慢であった。まだ残っているとはいえ、地盤沈下により砂が少なくなっているため、防潮堤の位置を考えてほしい。 ・吉里吉里に家を建てたいと思っている。各種制度には期限もあり、早急に住宅地の整備をお願いしたい。 ・公営住宅の建設について、高齢化対策の一環として、グループホーム化できないものか。集合にすれば、介護もしやすい環境になる。 ・震災前のような海が見える吉里吉里にしてほしい。公営住宅だけでなく、個人が家を持てるような対策をお願いしたい。

大槌町地域復興協議会 第1回地域別協議会の内容

●概要

【第1回町方、桜木町・花輪田、小枕・伸松、沢山・大ヶ口地域復興協議会】

○日時：平成23年10月16日(日) 13:30～15:30 ○場所：城山体育館 ○参加者：221名

【第1回安渡地域復興協議会】

○日時：平成23年10月16日(日) 9:30～11:30 ○場所：安渡小学校体育館 ○参加者：93名

【第1回赤浜地域復興協議会】

○日時：平成23年10月16日(日) 13:30～15:30 ○場所：赤浜小学校体育館 ○参加者：38名

【第1回吉里吉里地域復興協議会】

○日時：平成23年10月16日(日) 13:30～15:30 ○場所：吉里吉里中学校体育館 ○参加者：111名

【第1回浪板地域復興協議会】

○日時：平成23年10月16日(日) 9:30～11:30 ○場所：浪板交流促進センター ○参加者：35名



安渡地区



赤浜地区



吉里吉里地区



浪板地区

今後の地域復興協議会開催日程

No.	会議等	第3回		第4回		開催場所
		11月12日(土)	11月13日(日)	11月26日(土)	11月27日(日)	
①	町方地域復興協議会	13:30～15:30		13:30～15:30		城山公園体育館
②	桜木町・花輪田地域復興協議会					
③	小枕・伸松地域復興協議会					
④	沢山・大ヶ口地域復興協議会					
⑤	安渡地域復興協議会	9:30～11:30※		9:30～11:30※		安渡小学校体育館
⑥	赤浜地域復興協議会					赤浜小学校体育館
⑦	吉里吉里地域復興協議会		9:30～11:30		9:30～11:30	吉里吉里中学校体育館
⑧	浪板地域復興協議会		13:30～15:30		13:30～15:30	浪板交流促進センター
⑨	小鉢地域復興協議会		9:30～11:30		9:30～11:30	小鉢多目的集会所
	金沢地域復興協議会		9:30～11:30		9:30～11:30	金沢支所※

以前と日程が変わっているところです。